



# 六甲山魅力再発見市民セミナー

市民セミナーVol.95  
六甲山ガイドハウスの5年  
／宇杉 禎夫  
2011年2月発行

## 第95回テーマ： 六甲山ガイドハウスの5年

### 講演内容

- 環境を考えた六甲山ガイドハウス
- 六甲上山者の移り変わり
- 最近の六甲山事情と今後への期待



六甲山ガイドハウス

実施日：平成23年2月19日（土）  
午後1時～3時40分  
場所：六甲山地域福祉センター



講師：宇杉 禎夫さん  
（プロフィール）

1938（昭和13）年生まれ、71歳、篠山町出身。六甲山の南山麓・北山麓に住み、企業保養所に運搬用のモノレールやリフトを設置。六甲山上の人との交流も多い。平成17年ガイドハウス設立と同時に管理人、施設管理と訪問者への情報提供に務める。

### 6年ぶりにハート池と再会！

午前中の環境整備ボランティアは8名がガイドハウスに集合して、近畿自然歩道と二つ池環境学習林の樹木の新芽などの観察をしました。天候は晴れ、気温は0℃で日陰には積雪が残っていました。二つ池の下池でハート形の溶氷を発見！2005年2月19日にハート池を発見し、6年ぶりの奇縁に感激しました。



ハート形の溶氷

### 宇杉さんに六甲山事情をたずねた

ガイドハウスの管理人の宇杉さんには、市民セミナーの講師候補を紹介していただき、冬場の環境整備活動の集合場所としてもお世話になっています。

兵庫県が六甲山の活性化策として、記念碑台周辺の施設や環境整備に注力されています。県立自然保護センターのリニューアルに引き続いて六甲山ガイドハウスを設立したのは、かつて「六甲山銀座」と呼ばれて賑わった地域の再生を願った試みでした。



六甲山ガイドハウス開所式

最近では記念碑台に様々な人が訪れ、上山者が変化しているように感じます。六甲山上の過疎化を代表した企業保養施設の動向も気になります。六甲山上で毎日来訪者に接しておられる事情通の宇杉さんから、5年間の変化を聞いてみたいと考えて講師をお願いしました。

### 記念碑台の立ち寄り客は増えにくい

市民セミナーの参加申込みが少なかったのですが、当日は20名が神戸市立地域福祉センターに集いました。冬場では活況といえる人数で、地域で活動している人もいました。

宇杉さんの自己紹介の後、講師と参加者が一緒になって、

主催：六甲山を活用する会

協力：兵庫県立人と自然の博物館

後援：兵庫県神戸県民局、灘区役所、神戸市教育委員会

テーマについて情報提供や意見交換を行い、フランクな懇談にしよう確認しました。ガイドハウスでの仕事は訪問客に対応するのが主であり、参加者から具体的な情報やデータを求められて戸惑いつつ、ガイドハウスの来訪客が減少している状況を話されました。

参加者からも見聞した事実が紹介されました。観光客は微増しているが、記念碑台への立ち寄り客は増加していない現状を確認しました。宇杉さん同様に、参加者全員が記念碑台の施設運営の向上を切実だと考えました。



記念碑台の環境整備のころ

### 地域の活用に抜本策が求められる

ガイドハウスは六甲山の総合的な案内ができる得がたい施設です。①関係者の相互連携、②広く魅力を伝える努力、③新たな情報発信などを踏まえた現状打開が必要になっていると思いました。

※詳しくは、1・2ページをお読みください。

### 参加の感想 大武 圭介さん

初めてセミナーに参加させていただきました。まだまだ寒い日でしたが、多くの参加者があり驚きました。

宇杉さんの話を通じて、六甲山ガイドハウスの活動やこれまで5年間の推移がよくわかりました。

記念碑台にあるガイドハウスは自然ガイドだけでなく、外国人の立ち寄りもある観光案内所的な役割も求められており、ニーズが多様化しているのだと感じました。



### 【助成金をいただいている機関】

セブン-イレブン記念財団、大阪コミュニティファンド（東洋ゴムグループ環境保護基金）、子どもゆめ基金、コベルコ自然環境保全基金、コープこうべ環境保護基金